

2024年 SL 琵琶湖 MZ シニア 特別規則書

令和6年2月7日

- 開催日
6大会中 4大会開催

2024年 SL 琵琶湖シリーズ	開催日
FIRST SURVIVAL (第1,2戦)	3月31日
GW BATTLE (第3,4戦)	5月5日
SUMMER GAME (第5,6戦)	8月18日
CLIMAX (第7,8戦)	11月24日

この4大会で開催し、各大会2戦ずつ行う。

- 開催クラス
 - ・MZ シニア
出走する全員を対象として順位を付け、賞典を行う。

- レースフォーマット

- ・通常

公式練習：8分

タイムトライアル：5分

予選ヒート：8周

第1決勝：13周

第2決勝：13周

- ・フルグリッド(34台)を超える場合

※選手受付時にくじ引きでA、Bのグループ分けを行う

公式練習(3分)&タイムトライアル(5分)：各8分

予選ヒート：各5周

(各グループ上位17名が「第1ヒート」進出)

-----ここまでがグループ分け-----

第1ヒート：13周

セカンドチャンスヒート：5周

(第1ヒート29~34位、予選ヒート18位以下が対象。上位6名が「第2ヒート」進出)

第2ヒート：13周

- スターティンググリッド

予選ヒート：タイムトライアルの順位で決められる。

第1ヒート：予選ヒートの順位で決められる。

※フルグリッドを超える場合は各グループ1列に並び、トップの予選ヒート合計タイムの速い方が奇数列(イン側)となる。

第2ヒート：第1決勝の最終順位を用いて、上位半数(最大6台)を逆グリッドにする。

例：参加台数10台の場合、第1決勝の上位5台を逆グリッドとする。13台以上の場合、上位6台を逆グリッドとする。奇数台数の場合は小数点切り捨て。

※フルグリッドを超える場合、ここにセカンドチャンスヒート上位6名がその着順で29～34位に配置される。

- スタート方式

ローリングスタート

天候状況(激しい雨等)によってはスタンディングスタートに変更する場合がある。

- 車両保管

- ・第1決勝終了後、リバースグリッド対象順位の車両は車両保管の対象となり、車検場で保管される。
- ・第2決勝は上位6台が車両保管の対象となる。
- ・エンジン、キャブレター、ガソリンの検査を抜き打ちで行う場合がある。対象はランダムで選ばれ必ずしも上位が対象とは限らない。

- タイヤハンデ

第1決勝、第2決勝のどちらかで上位3位に入賞したドライバーは、次大会以降は入賞時に使用したタイヤで出場しなければならない。

対象者は第2決勝車両保管時にタイヤを取り外し、運営側で管理される。

大会中、2つの決勝共に上位3位以内に入らなかった場合タイヤハンデはリセットとなり、タイヤはドライバーに返却される。

第3大会(第5,6戦)終了後にタイヤハンデはすべてリセットされ、最終決戦(第7,8戦)はタイヤハンデなしで行われる。

管理タイヤは第6戦終了後、すべて返却される。

※パンク、バースト等でやむを得ずタイヤを交換する場合は運営側に申告が必要。但し新品タイヤは使用不可。

- サブドライバー登録

事前エントリー時にサブドライバーの登録を可能とする。当日、参加受付後の登録は不可能とする。

サブドライバーもエントリー資格を十分に満たしていなければならない。

レース当日、一回のみ出走ドライバーをサブドライバーに変更可能。変更の場合は各セッションの20分前までに申告用紙の提出が必要となる。セッション中のドライバー交代は禁止。

またドライバー変更を行った場合、直後のヒートは最後尾グリッド又はピットスタートとなる。スタート位置がどちらになるかは運営側が判断し、これに対する異議申し立ては如何なる場合も一切受け付けない。タイムトライアルで変更の場合、オフィシャルの指示によってコースインのタイミングを調整する場合がある。

シリーズポイントは各ドライバー本人に与えられるため、出走していない方のドライバーにはポイントは与えられない。

但し、コース上でのペナルティや出場停止等の処分に関しては、連帯責任としてメイン、サブドライバー両方に課せられる。

グリッド降格ペナルティを課せられた直後にドライバー変更を行った場合は、消化不良となるため代わりにピットスタートとなる。

※最低重量を大きく下回った場合（スタンダード 143 キロ、ライト 127 キロ未満）出場停止処分を課せられることが新たに設定されています。発覚した場合、この罰則はメイン、サブドライバー両方に課せられます。ドライバー変更後の重量調整は十分に注意してください。

● シリーズポイント

本大会のドライバーに与えるシリーズポイントは、次の得点基準を適用する。

ポイントの集計はすべて Vifonte が行い、毎大会後に琵琶湖スポーツランドへ提出する。

順位	得点	順位	得点
第 1 位	25 点	第 6 位	6 点
第 2 位	20 点	第 7 位	4 点
第 3 位	17 点	第 8 位	3 点
第 4 位	10 点	第 9 位	2 点
第 5 位	8 点	第 10 位	1 点

(1) シリーズ全 8 戦(4 大会)有効とし、合計ポイントの多い順に順位を決める。

(2) CLIMAX(第 7、8 戦)のシリーズポイントについては通常ポイントの 1.5 倍で加算される。ポイントは十分の一の位まで有効ポイントとする。

(3) シリーズ終了後、同ポイントの場合は以下の判定基準で判定する。

1) 最終戦の順位で決定とする。

2) 1) でも決定できない場合は最終戦のベストタイムの速い順で決定とする。

3) 2) でも決定できない場合は特大ポイント取得の早い順で決定するものとする。

● エントリー資格

・ 中学一年生以上(1~3 月の間は小学 6 年生も可)

・ SLO 会員証(B 以上)・ SL メンバーズブック・ SLO 保険加入証明書の 3 点を所持する者。

・ 既に他のシリーズで MZ シニア、又はそれ相当の MZ200RK、RKC を使用したクラスに参戦経験がある場合は、年齢(中学一年生以上)を満たしてなくともエントリーを特例で認める。但し SL 会員証(カデット以上)が必須であり、これは年齢のみの特例である。

● 保険

SLO 保険の加入が必要となる。

- トランスポンダー

マイポンダーの持ち込みを強く推奨する。(レンタルも可能だが、別途費用が必要)

- グリップウエイトレシオ (指定タイヤ、重量)

2種類のパッケージから選択することが可能。

毎大会、車検時に選択するパッケージを申告すること。

但し、タイヤハンデを課せられている者は指定タイヤの使用義務があるため、パッケージ変更は認められない。

サブドライバーへドライバー変更時も、パッケージ変更は認められない。

パッケージごとのクラス分けは行わず、全車同じ土俵で戦わなければならない。

パッケージは以下の通りである。

名称	タイヤ (ドライ、ウェット共通)	最低重量
スタンダード	DUNLOP SL-FD	150kg
ライト	DUNLOP DRK-L1	135kg

- シャシー

- ・ジュニア、キッズカート以外の各一般市販品。

- ・非売品シャシーや修理以外を目的とした加工や切断等は原則認めず、運営側への申告が必要となる。

- ・脱落式フロントフェアリングの装着は推奨とする。

脱落による5秒加算は適用されないが、完全に脱落し走行に支障をきたす場合はオレンジボールフラッグが提示される。

- ・安全上問題がないものとしリアプロテクション装着は義務とする。

- エンジン

- ・YAMAHA MZ200RK、RKC

- ・切削付加等の変更、改造及び純正部品以外への交換は原則禁止。但し、エキゾーストの割れ防止部品の取り付け、リコイルスターター故障の対策品への交換は認める。

- ・MZ200RKCのセルモーター、それに付随する部品は取り外し可能。但し、セルモーターを外した時にできる穴はカバー等で隠すこと。

- ・エアークリーナーはYAMAHA純正パーツに限る。但し、雨天時のみ雨よけカバーの取り付けは認める。

※MZ200 パワーエアークリーナー (7DH-4401-SP) マニホールド (7DH-E440F-SP) 純正エアークリーナー (7CN-E4410-50)

- ・純正エアークリーナーに内蔵するスポンジの取り外しは禁ずる。

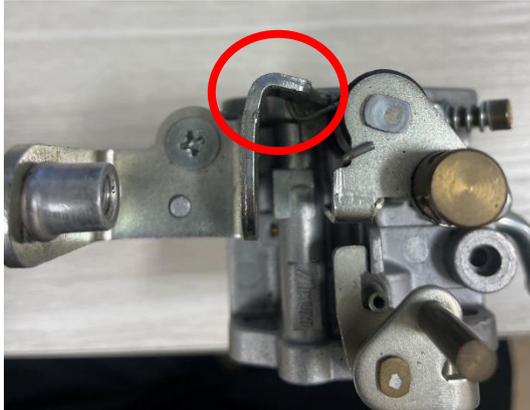
- ・パワーフィルターへの雨カバー取り付け加工で上蓋部分にM6の孔開け加工は認める。但し、通常走行時はM6ボルトを取り付け、必ず穴から空気が入らない様にする。

- ・ドライブスプロケット18Tを使用可能とする。但し、鉄製に限る。

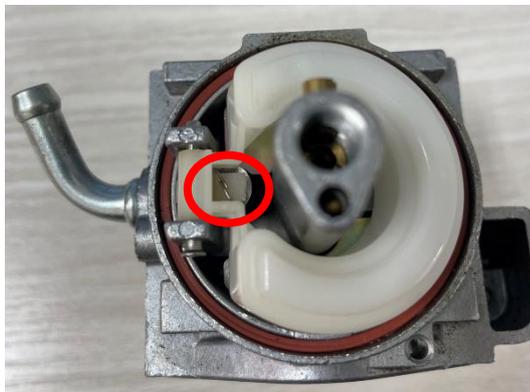
- キャブレター

2024年 SL カートミーティング車両規則に準じ、パーツ交換、切削等の加工は禁止とするが、以下の調整は走行性能維持の為認められる。

- ・ アクセルレバー全開調整でのストッパーの曲げ加工。但し、他パーツの交換、切削、溶接は禁止



- ・ メインジェットは 92.5(メーカー出荷時)固定とし、加工、切削、他メーカーのジェット交換は禁止。
- ・ 油面調整はフロートのフロートアームの曲げ加工のみ認められる。



※フロート重量変更、フロートバルブへの加工は禁止とする。

- オイル

自由。但し安全上問題がないものに限る。

- ガソリン

- ・ SL琵琶湖シリーズに準じ、指定されたガソリンスタンドで購入、使用すること。
- ・ ガソリンへの添加剤等の使用は一切禁止する。また、抜き打ちで検査を行う場合がある。

その他規則については SL 琵琶湖シリーズ特別規則書付則に準ずる。